12. 特別活動

全体計画

教科目標
- 基礎学力の向上を図る。
- 学習する喜びと意欲を育成する。

道徳目標
- 人間尊重の精神を基礎とした豊かな心の育成
- 児童の内面に根ざした道徳性の育成

総合的な学習の目標

総合的な学習（探究）の時間は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する

学校教育目標

日に新た
自ら学び
心豊かに
たくましく

めざす児童像
- 自らを日々成長させようとする子ども
- 自ら学び、考え、行動できる子ども
- 心豊かで思いやりのある子ども
- 健康でたくましい子ども

目指す学校像

一人ひとりを大切に、夢や希望を育む学校

特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団生活に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおりの資質・能力を育成することを目指す。

(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりすることができるようにする。

(3)自主的、実践的な集団生活を通して、身に付けたことを活かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

特別活動の基本方針
- 児童と教師の温かい触れ合いを基盤に、望ましい集団活動の過程で、協力しあい粘り強くやりぬく自主的実践的な態度の育成を図る。
- 一人一人を理解し、児童のより良い相互作用の育成を目指す。
- 児童活動、学校行事、学級指導の特質をとらえ、段階的発展的な指導、支援をする。

学級活動

話し合い、係、集会活動を自主的に行うことにより、学級の一員としての自覚を高め、学校生活を楽しく豊かにする態度、実践力を育てる。

- 話し合い活動
- 係活動
- 集会活動

児童会活動
- 児童の自主的な活動を育てる。
- 異年齢集団の結びつきを強める。
- 学級（学年・学校）集団の力を高める。

- 代表委員会
- 行事・集会活動

- クラブ活動
- 委員会活動

クラブ活動

互いに協力しあい、生き生きとした活動を通して、自主的に活動する態度を育てる。

委員会活動

校内の仕事を分担して、主体的に取り組むことにより、学校生活を豊かにする態度、実践力を育てる。

学校行事

学校生活に秩序と変化を与える活動を通し、集団活動の規律、協力、責任等を体得させるとともに、児童の創意を生かし、生き生きと参加させることにより、充実感と連帯感を育てる。

儀式的行事

学校生活に有意義な変化や節目をつけ、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動

国旗掲揚・国歌斉唱

文化的行事

平素の学習活動の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を一層高めるような活動

健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進等について感心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の育成、

体力向上等に資するような活動

遠足・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化に親しむとともに、集団生活のあり方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動

勤労生産・奉仕的活動

勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を育成する体験活動

学級指導

日常生活に即して人間関係、心身の健康、安全の保持、増進など、一人一人の児童にどうすれば良いかをわからせ、自主的積極的に実践する態度を育てる。

学級・・・学校生活への対応に関する指導
保健・・・安全に関する指導
学校給食に関する指導
学校図書館の利用に関する指導
学校行事・長期休業中の事前事後指導
清掃・・・環境美化に関する指導

特別活動年間計画

月	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
4	きょうから1ねんせい 対面式 学校のきまり たのしいきゅうしょく 図書室の利用の仕方 遠足のやくそく	(3)-ア (1)-ウ (1)-ア (2)-エ (3)-ウ (1)-ア	きょうから2年生 対面式 学校のきまり・学級目標 係をきめよう 図書室の利用の仕方 遠足のやくそく	(3)-ア (1)-ウ (1)-ア (1)-イ (3)-ウ (1)-ア	3年生になって 対面式 学校のきまり・学級目標 係をきめよう 図書室の利用の仕方	(3)-ア (1)-ウ (1)-ア (1)-イ (3)-ウ	4年生になって 対面式 学校のきまり・学級目標 係をきめよう 図書室の利用の仕方 クラブ・委員会を決めよう 菊の世話	(3)-ア (1)-ウ (1)-ア (1)-イ (3)-ウ (1)-ウ (3)-イ	5年生になって 対面式 学校のきまり・学級目標 係をきめよう 図書室の利用の仕方 クラブ・委員会を決めよう	(3)-ア (1)-ウ (1)-ア (1)-イ (3)-ウ (1)-ウ	6年生になって 対面式 学校のきまり・学級目標 係をきめよう 図書室の利用の仕方 クラブ・委員会を決めよう	(3)-ア (1)-ウ (1)-ア (1)-イ (3)-ウ (1)-ウ
5	学習の約束 全校交流会 交通安全教室	(1)-ア (2)-イ (2)-ウ	学習の約束 全校交流会	(1)-ア (2)-イ	学習の約束 全校交流会 遠足の約束 野菜を育てよう	(1)-ア (2)-イ (1)-ア (2)-エ	学習の約束 全校交流会 遠足の約束 野菜を育てよう	(1)-ア (2)-イ (1)-ア (2)-エ	学習の約束 全校交流会 林間学舎の取り組み	(1)-ア (2)-イ (1)-ア	学習の約束 全校交流会 校外学習の取り組み	(1)-ア (2)-イ (1)-ア
6	雨の日の過ごし方	(1)-ア	雨の日の過ごし方	(1)-ア	雨の日の過ごし方	(1)-ア	雨の日の過ごし方	(1)-ア	雨の日の過ごし方	(1)-ア	雨の日の過ごし方	(1)-ア
7	安全な登下校 夏休みのくらし	(2)-ウ (2)-ア	安全な登下校 夏休みのくらし	(2)-ウ (2)-ア	安全な登下校 夏休みのくらし	(2)-ウ (2)-ア	安全な登下校 夏休みのくらし	(2)-ウ (2)-ア	安全な登下校 夏休みのくらし	(2)-ウ (2)-ア	安全な登下校 夏休みのくらし	(2)-ウ (2)-ア
8 9	学級活動 係を決めよう 運動会でがんばろう	(1)-ア (1)-イ (1)-ウ	学級活動 係を決めよう 運動会でがんばろう	(1)-ア (1)-イ (1)-ウ	学級活動 係を決めよう 運動会でがんばろう	(1)-ア (1)-イ (1)-ウ	学級活動 係を決めよう クラブ・委員会を決めよう 運動会でがんばろう	(1)-ア (1)-イ (1)-ウ (1)-ウ	学級活動 係を決めよう クラブ・委員会を決めよう 運動会でがんばろう	(1)-ア (1)-イ (1)-ウ (1)-ウ	学級活動 係を決めよう クラブ・委員会を決めよう 運動会でがんばろう	(1)-ア (1)-イ (1)-ウ (1)-ウ
10	学級活動 みんな仲良く 遠足のやくそく 平和への願い	(2)-イ (2)-イ (1)-ア (3)-ア	学級活動 みんな仲良く 遠足のやくそく 平和への願い	(2)-イ (2)-イ (1)-ア (3)-ア	学級活動 みんな仲良く 遠足の約束 平和への願い 交通安全教室	(2)-イ (2)-イ (1)-ア (3)-ア (2)-ウ	学級活動 みんな仲良く 遠足の約束 平和への願い	(2)-イ (2)-イ (1)-ア (3)-ア	学級活動 みんな仲良く 校外学習の取り組み 平和への願い	(2)-イ (2)-イ (1)-ア (3)-ア	学級活動 みんな仲良く 修学旅行の取り組み 平和への願い	(2)-イ (2)-イ (1)-ア (3)-ア
11	読書週間 児童会まつり 学校おおそうじ かぜのよぼう さつまいもの収穫 誘拐防止教室	(3)-ウ (1)-ウ (3)-イ (2)-ウ (2)-エ (2)-ウ	読書週間 児童会まつり 学校大そうじ かぜのよぼう さつまいもの収穫 誘拐防止教室	(3)-ウ (1)-ウ (3)-イ (2)-ウ (2)-エ (2)-ウ	読書週間 児童会まつり 学校大そうじ かぜの予防 福祉交流会	(3)-ウ (1)-ウ (3)-イ (2)-ウ (3)-ア	読書週間 児童会まつり 学校大そうじ かぜの予防	(3)-ウ (1)-ウ (3)-イ (2)-ウ	読書週間 児童会まつり 学校大そうじ かぜの予防	(3)-ウ (1)-ウ (3)-イ (2)-ウ	読書週間 児童会まつり 学校大そうじ かぜの予防	(3)-ウ (1)-ウ (3)-イ (2)-ウ
12	学級活動 みんなでおおそうじ 冬休みのくらし	(2)-イ (3)-イ (2)-ア	学級活動 みんなで大そうじ 冬休みのくらし	(2)-イ (3)-イ (2)-ア	学級活動 みんなで大そうじ 冬休みのくらし	(2)-イ (3)-イ (2)-ア	学級活動 みんなで大そうじ 冬休みのくらし	(2)-イ (3)-イ (2)-ア	学級活動 給食委員会の取組 みんなで大そうじ 冬休みのくらし	(2)-イ (2)-エ (3)-イ (2)-ア	学級活動 給食委員会の取組 みんなで大そうじ 冬休みのくらし	(2)-イ (2)-エ (3)-イ (2)-ア
1	学級活動 係を決めよう 全校交流会 新年のめあて 校区防災訓練	(1)-ア (1)-イ (2)-イ (3)-ア (2)-ウ	学級活動 係を決めよう 全校交流会 新年のめあて 校区防災訓練	(1)-ア (1)-イ (2)-イ (3)-ア (2)-エ	学級活動 係を決めよう 全校交流会 新年のめあて 校区防災訓練	(1)-ア (1)-イ (2)-イ (3)-ア (2)-エ	学級活動 係を決めよう 全校交流会 新年のめあて 校区防災訓練	(1)-ア (1)-イ (2)-イ (3)-ア (2)-エ	学級活動 係を決めよう 全校交流会 新年のめあて 校区防災訓練	(1)-ア (1)-イ (2)-イ (3)-ア (2)-エ	学級活動 係を決めよう 全校交流会 新年のめあて 校区防災訓練	(1)-ア (1)-イ (2)-イ (3)-ア (2)-エ
2	学級活動 学習発表会 もうすぐ2年生	(1)-ア (1)-ウ (3)-ア	学級活動 学習発表会 もうすぐ3年生	(1)-ア (1)-ウ (3)-ア	学級活動 学習発表会 もうすぐ4年生	(1)-ア (1)-ウ (3)-ア	学級活動 学習発表会 もうすぐ5年生	(1)-ア (1)-ウ (3)-ア	学級活動 学習発表会 もうすぐ6年生	(1)-ア (1)-ウ (3)-ア	学級活動 学習発表会 もうすぐ中学生	(1)-ア (1)-ウ (3)-ア
3	6年生を送る会 春休みのくらし	(1)-ウ (2)-ウ	6年生を送る会 春休みのくらし	(1)-ウ (2)-ウ	6年生を送る会 春休みのくらし	(1)-ウ (2)-ウ	6年生を送る会 春休みのくらし	(1)-ウ (2)-ウ	卒業式にむけて 入学式にむけて 春休みのくらし	(3)-ア (1)-ウ (2)-ウ	6年生を送る会 卒業式にむけて 春休みのくらし	(1)-ウ (2)-ウ

(1)　学級や学校における生活づくりへの参画
　ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決
　イ　学級内の組織づくりや役割の自覚
　ウ　学校における多様な集団の生活の向上
(2)　日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
　ア　基本的な生活習慣の形成
　イ　よりよい人間関係の形成
　ウ　心身ともに健康で安全な生活態度の形成
　エ　食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形
(3)　一人一人のキャリア形成と自己実現
　ア　現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の
　イ　社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
　ウ　主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

13. 情報教育年間計画

枚方市立禁野小学校

学年		小学校１年・２年	小学校３年・４年	小学校５年・６年
観点		・タブレットPCで楽しく学習ができる。 ・アプリなどを使ってタブレットPCに親しむ。	・写真の貼り付け、ローマ字入力、文字変換、エンターキーの役割を理解して活用することができる。 ・タブレット基本操作（コピー＆ペーストなど）を活用して調べ学習をすることができる。	・タブレットを活用して、調べたことをプレゼンすることができる。
知識及び技能	身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く。	・コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを知る。 ・問題解決には必要な手順があることが分かる。	・身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付く。 ・問題解決に必要な手順は、工夫されていることが分かる。	・体験を通して、プログラムの働きやよさ、情報技術が社会を支えていることに気付く。 ・問題解決の手順を論理的に組み立てることのよさが分かる。
思考力，判断力，表現力等	発達の段階に即して，「プログラミング的思考」を育成する。	・体験や活動から疑問を持ち、どのような手順が必要かを考える。 ・はじめ、中、終わりの構成を考えて伝えたいことをまとめる。	・自分が意図する一連の活動を実現するためには、どのような動きの組み合わせが必要かを考える。 ・内容の中心を明確にし、まとまりをつくったり自分の考えと理由の関係を明確にしたりしてまとめる。	・自分が意図する一連の活動を実現するために、動きの組み合わせの改善や修正を、論理的に考える。 ・問題解決に必要な情報を、視点を定めて分類したり多面的に検討したりする。
学びに向かう力，人間性等	発達の段階に即して，コンピュータの働きを，よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養する。	・自分たちの身の回りの情報機器に親しみ、進んで利用しようとする。 ・友達と協力して活動に取り組む	・自分たちの身の回りの情報機器を、目的に応じて利用しようとする。 ・課題解決に向け、粘り強くやり抜こうとする。	・自分たちの身の回りの情報機器を、問題の解決や意図、目的に応じて適切に利用しようとする。 ・情報技術のよさや価値を社会や自らの将来に関連付けて考える。
情報の科学的な理解		・タブレットの基本操作（アプリの使い方など） ・図形の扱い方（移動、拡大縮小、回転） ・　アンプラグドプログラミング（情報機器を用いないもの）	・ Wordやドキュメントによる文書作成の方法がわかる。 ・ インターネットの基本的な利用の仕方がわかる。 ・ビジュアルプログラミング （タブレット端末等の画面上で操作するもの）	・　各種メディアの基本的な特性を知り、適切な活用方法が分かる。 フィジカルプログラミング （実際にロボットやセンサーを制御するもの）
情報社会に参画する態度		・　友達と教え合いながら、楽しくタブレットPCを使うことができる。 ・　友達の作品の良いところを見つけることができる。	・　進んで情報を集めようと心がけることができる。 ・　正しい情報を発信することができる。 ・　相手を尊重しながら情報を扱うことができる。	・　情報の真偽を判断することができる。 ・　個人情報保護の大切さを知り、尊重する。 ・　著作権保護の大切さを知り、配慮する。 ・　情報発信に伴う責任を知ることができる。

教科等の関連・使用ソフト	１年	２年	３年	４年	５年	６年
	大きなかぶ たしざん カタカナをみつけよう なんじなんぷん	やさいを育てよう 時刻と時間 かえざんさがし 長さの単位 はこの形	たし算・ひき算 昆虫の観察 はたらく人とわたしたちのくらし 電気であかりをつけよう 俳句に親しむ	季節の生き物 水はどこから ヒトの体のつくりと運動 ごんぎつね 直方体と立方体 私たちの県のまちづくり	日本の地形の気候 雲と天気の変化 工業の今と未来 もののとけ方 百分率とグラフ	対称な図形 ともに生きる暮らしと政治 室町文化と力をつける人々 比例と反比例 量の単位

情報モラル教育カリキュラムの学年系統表

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
情報社会の倫理	目標	発信する情報や、情報社会での行動に責任をもつ。 情報に関する自分や他者の権利を尊重する。					
	学年に応じた目標	約束や決まりを守る。 人の作ったものを大切にする心をもつ		相手への影響を考えて行動する 自分の情報や、他人の情報を大切にする。		他人や社会への影響を考えて行動する。 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。	
	参考教材	【タブレットとは】 ネット社会の歩き方68 「タブレットやスマートフォンてどんなもの？」		【ネットに載せる情報】 ネット社会の歩き方8 「おもしろ半分では無責任」	【デジタルタトゥー】 ネット社会の歩き方10 「ネットいじめは人権侵害」	【隠し撮り問題】 ネット社会の歩き方72 「SNS投稿は肖像権に気を付けて」	【個人特定問題】 ネット社会の歩き方83 「『特定しました！』って正義ですか？」
法の理解と遵守	目標	情報社会でのルール・マナーを守る。					
	学年に応じた目標			情報の発信や、やりとりをする場合のルール・マナーを知り、守る。		ルール・マナーに反する行為を絶対に行わない。 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない。	
	参考教材	(斜線)	(斜線)	【違法アップロード】 ネット社会の歩き方71 「ネットにマンガをアップロードしたら」	【不適切な書き込み】 ネット社会の歩き方6 「ネットで悪口は要注意」	【誹謗中傷問題】 ネット社会の歩き方82 「そのステータスメッセージは大丈夫？」	【ネット買い物・約款】 ネット社会の歩き方39 「契約は慎重に」
安全への知恵	目標①	情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。					
	学年に応じた目標	大人と一緒に使い、危険に近づかない。 不適切な情報に出会わない環境で利用する。		危険に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。 不適切な情報に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。		予測される危険の内容がわかり、避ける。 不適切な情報であるものを認識し、対応できる。	
	参考教材		【ネット検索】 ネット社会の歩き方3 「大人向けの情報に注意」	【詐欺サイト等への対応】 ネット社会の歩き方61 「むやみにタップしてはダメ」			【危険予測・回避】 ネット社会の歩き方95 「詐欺メール！絶対に押すなよ」
	目標②	情報を正しく安全に利用することを努める。					
	学年に応じた目標	知らない人に連絡先を教えない。		情報には誤ったものもあることに気づく。 個人の情報は、他人に漏らさない		情報の正確さを判断する方法を知る。 自他の個人情報を第三者に漏らさない。	
	参考教材		【情報漏洩のきっかけ】 ネット社会の歩き方11 「住所や電話番号をおしえるのは慎重に」	【メディアリテラシー】 国語教科書「調べて書こう、わたしのレポート」 引用する際は引用元を記載することの大切さ		【メディアリテラシー】 NHK for schoolメディアタイムズ 「フェイクニュースを見抜くには」	
	目標③	安全や健康を害するような行動を抑制できる。					
	学年に応じた目標	決められた利用時間や約束を守る。		健康のために利用時間を決める・守る。		健康を害するような行動を自制する。 人の安全を脅かす行為を行わない。	
	参考教材				【ゲーム依存】 ネット社会の歩き方60 「ケータイゲーム機に夢中になると」		【スマホ・SNS依存】 ネット社会の歩き方54 「やめたいけれど，やめられない・・・」
情報セキュリティ	目標	生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。					
	学年に応じた目標			認証の重要性を理解し、正しく利用できる。		不正使用や不正アクセスされないように利用できる。 情報の破壊や、流出を守る方法を知る。	
	参考教材	(斜線)	(斜線)		【パスワードの重要性】 ネット社会の歩き方97 ～パスワード～ 「自分の大切なものを守る『鍵』」	【不正アクセスの被害】 ネット社会の歩き方67 「パスワードが盗まれたら」	【情報流出の場面】 ネット社会の歩き方15 「チャットで個人情報は言わない」
公共的なネットワーク社会の構築	目標	公共的なネットワーク社会の構築					
	学年に応じた目標			協力し合ってネットワークを使う。		ネットワークは共用のものであるという意識をもって使う。	
	参考教材	(斜線)	(斜線)	【デジタルコミュニケーションの難しさ】 ネット社会の歩き方57 「傷つくようなメッセージが友達から来たら」	【onlineゲームの言葉】 ネット社会の歩き方79 「ゲームに熱くなりすぎると」	【情報の開放性】 ネット社会の歩き方44 「書き込みはリアル？」	【ネット社会の構築者】 ネット社会の歩き方62 「後輩からの相談」

情報活用能力育成体系表

情報活用能力系統表　　情報活用の実践力

3観点	8要素	大項目	中項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	資質能力
情報活用の実践力	課題や目的に応じた情報手段の適切な活用	PC、タブレット端末(iPad)の基本操作	機器利用のための共通操作	・タブレット端末を活用して家庭学習などで「navima」に取り組む。 ・タブレットの起動、ログオン、終了ができる。	・タブレット端末を活用して家庭学習などで「navima」に取り組む。 ・タッチ操作 ・マウス操作 ・手書き入力	・タブレット端末を活用して家庭学習などで「navima」に取り組む。 ・データの保存ができる。 ・タイピング　3年　50/分 ・電子メールを送受信することができる。	・タブレット端末を活用して家庭学習などで「navima」取り組む。 ・タイピング　4年　100/分	・タブレット端末を活用して家庭学習などで「navima」に取り組む。 ・タイピング　5年　150/分	・タブレット端末を活用して家庭学習などで「navima」に取り組む。。 ・タイピング　6年　２００/分	知識・技能
	必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造	情報の収集・整理	図書や資料の活用 カメラ機能の活用 情報収集の方法	・教科書や図鑑から、情報を収集することができる。 ・カメラで撮影する。撮影したものを閲覧できる。 1年　静止画 ・身近な人から情報を収集することができる。 ・教師が準備したリンク集を利用して、検索・閲覧することができる。	・カメラで撮影する。撮影したものを閲覧できる。 2年　動画 ・教師が準備したリンク集を利用して、検索・閲覧することができる。	・辞典の引き方が分かり、自ら情報を収集することができる。 ・理科・総合 カメラで撮影して最後に四季の変化をまとめ、写真と文字を入れて、表現、発信する。 ・国語 カメラ機能や動画機能を使って自分の考えに合った写真を撮ることができる。など	・具体的な質問を考え、情報を収集することができる。 ・検索エンジンにキーワードを入力して、検索・閲覧することができる。	・新聞や資料集から必要な情報を収集することができる。 ・相手の話に応じて質問を考え、情報を収集することができる。 ・複数のキーワードを組み合わせて、検索することができる。	・動画作成ソフト～編集し、クラスや学年で発表することができる。	
		情報の表現・処理・創造		・自分の考えをノート等にまとめて、発表することができる。	・自分の考えをノート等にまとめて、発表することができる。	・ノートや新聞に考えをまとめ、文書や図、表を用いて発表できる。	・ノートや新聞に考えをまとめ、文書や図、表を用いて発表できる。	・ノート、新聞に加え、プレゼンソフトを使い発表することができる。	・ノート、新聞に加え、プレゼンソフトを使い発表することができる。	
	受け手の状況などを踏まえた発信・伝達	考えの表現と発信		・相手に伝わるように発信できる。	・相手に伝わるように発信できる。	・相手や目的を意識して発表できる。	・相手や目的を意識して発表できる。	・聞き手とのやり取りを含む効果的な発表ができる。	・聞き手とのやり取りを含む効果的な発表ができる。	
		ソフトの活用（ロイロ）		カードをつくる カメラ・地図・ファイル・テキスト・Web	カードをつくる カメラ・地図・ファイル・テキスト・Web	カードを整理する カードの中にカードを入れる カードのサイズ・形を変える 回転、ピン留め カードの大きさをそろえる お気に入り	カードを整理する カードの中にカードを入れる カードのサイズ・形を変える 回転、ピン留め カードの大きさをそろえる お気に入り	回答を発表してもらう・比較する・共有する	シンキングツールを使い分かりやすく自分の考えを発表する	

情報活用能力系統表　情報の科学的な理解

3観点	8要素	大項目	中項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	資質能力
情報の科学的な理解	情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解	PC、タブレット端末の特性や仕組み	コンピュータの基本構成 周辺機器	・タブレット端末の名称がわかる ・充電ができる、キーボードをつなげる	・タブレット端末の名称がわかる ・充電ができる、キーボードをつなげる	・タブレット、プリンタ、プロジェクタ、スピーカー、書画カメラなどの接続をする	・タブレット、プリンタ、プロジェクタ、スピーカー、書画カメラなどの接続をする	・タブレット、プリンタ、プロジェクタ、スピーカー、書画カメラなどの接続をする	・タブレット、プリンタ、プロジェクタ、スピーカー、書画カメラなどの接続をする	知識・技能
		メディアの特性や仕組み	伝達メディアの特性や仕組み			・身の回りには様々なメディアがあることがわかる。 NHK for School、ネットモラルの動画	・身の回りには様々なメディアがあることがわかる。 NHK for School、ネットモラルの動画	・身の回りのメディアの特徴や活用場面が分かる。（教科と関連して） ・インターネットについておよその仕組みが分かる	・身の回りのメディアの特徴や活用場面が分かる。（教科と関連して） ・インターネットについておよその仕組みが分かる	
		計測・制御の仕組み	プログラミング	・順次処理について知る。 ・アンプラグドからスタート「truetrue」 ・絵本とワークシート「ルビーの吠え研」でアンプラグド	・簡単なプログラミングを行う（プログラミングソフト、ビスケットなどを用いて）	・スクラッチなどで簡単なアニメーション	・スクラッチなどで簡単なアニメーション	・スクラッチ・マイクロビットなどで複雑(分岐？)な処理	・スクラッチ・マイクロビットなどで複雑(分岐？)な処理	
	情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理	情報活用の評価・改善		・自らの発表について振り返ることができる。		・発表について相互で評価できるようにする。	・発表について相互で評価できるようにする。	・発表について相互評価をし、それを生かして改善する。	・発表について相互評価をし、それを生かして改善する。	

情報活用能力系統表　情報社会に参画する態度

3観点	8要素	大項目	中項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	資質能力
情報社会に参画する態度	社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解	情報の正しい判断と自他の健康	情報セキュリティ	知らない人に連絡先を教えない	知らない人に連絡先を教えない	情報には誤ったものもあることに気付く 認証の重要性を理解し，正しく利用できる	個人の情報は，他人にもらさない 認証の重要性を理解し，正しく利用できる	情報の正確さを判断する方法を知る 不正使用や不正アクセスされないように利用できる	自他の個人情報を，第三者にもらさない 情報の破壊や流出を守る方法を知る	知識・技能
			安全の知恵	大人と一緒に使い，危険に近付かない	不適切な情報に出合わない環境で利用する	危険に出合ったときは，大人に意見を求め，適切に対応する	不適切な情報に出合ったときは，大人に意見を求め，適切に対応する	予測される危険の内容がわかり，避ける	不適切な情報であるものを認識し，対応できる	
			健康と情報	決められた利用の時間や約束を守る	決められた利用の時間や約束を守る	健康のために利用時間を決め守る	健康のために利用時間を決め守る	健康を害するような行動を自制する	人の安全を脅かす行為を行わない	学びに向かう力・人間性等
		情報発信による他人や社会への影響		約束やきまりを守る	約束やきまりを守る	相手への影響を考えて行動する。	相手への影響を考えて行動する。	他人や社会への影響を考えて行動する。	他人や社会への影響を考えて行動する。	
	情報モラルの必要性や情報に対する責任	法の理解と遵守		生活の中でのルールやマナーを知る	生活の中でのルールやマナーを知る	情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを知り，守る	情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを知り，守る	何がルール・マナーに反する行為かを知り，絶対に行わない	「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り，尊重する 契約行為の意味を知り，勝手な判断で行わない	
		情報に関する自他の権利の尊重		人の作ったものを大切にする心をもつ	人の作ったものを大切にする心をもつ	自分の情報や他人の情報を大切にする	自分の情報や他人の情報を大切にする	情報にも，自他の権利があることを知り，尊重する	情報にも，自他の権利があることを知り，尊重する	
	望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度	公共的なネットワーク社会の構築				協力し合ってネットワークを使う	協力し合ってネットワークを使う	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	

14.　令和６年度年間行事予定

R6.4.15現在

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	月	辞令交付	1	水	懇談④	1	土		1	月	懇談①	1	木		1	日	
2	火		2	木	懇談⑤	2	日		2	火	懇談②	2	金		2	月	参観・懇談 修学旅行説明
3	水	入学式準備	3	金	憲法記念日	3	月		3	水	懇談③	3	土		3	火	
4	木	入学式	4	土	みどりの日	4	火	2年生校外学習	4	木	懇談④	4	日		4	水	委員会
5	金		5	日	こどもの日	5	水	委員会	5	金	懇談⑤	5	月		5	木	
6	土		6	月	振替休日	6	木	4年生校外学習	6	土		6	火		6	金	
7	日		7	火		7	金		7	日		7	水		7	土	
8	月	始業式	8	水	委員会	8	土		8	月		8	木		8	日	
9	火	4時間授業	9	木		9	日		9	火		9	金		9	月	
10	水	給食開始 4時間授業	10	金		10	月		10	水	クラブ活動	10	土		10	火	
11	木	離任式 委員会	11	土		11	火		11	木		11	日	山の日	11	水	クラブ活動
12	金		12	日		12	水	不審者避難訓練 クラブ活動	12	金		12	月	振替休日	12	木	
13	土		13	月		13	木	1年生校外学習	13	土		13	火		13	金	
14	日		14	火		14	金		14	日		14	水		14	土	
15	月	1年給食開始	15	水	クラブ活動	15	土		15	月	海の日	15	木		15	日	
16	火	対面式	16	木		16	日		16	火		16	金		16	月	敬老の日
17	水	地区児童会	17	金		17	月		17	水		17	土		17	火	
18	木	全国学力調査	18	土	土曜参観 引渡訓練	18	火	合同音楽会	18	木	給食終了	18	日		18	水	
19	金	参観・懇談 林間説明会	19	日		19	水	創立記念日	19	金	終業式	19	月		19	木	
20	土		20	月	代休	20	木		20	土		20	火		20	金	
21	日		21	火		21	金	3年生校外学習	21	日		21	水		21	土	
22	月		22	水	クラブ活動	22	土		22	月		22	木		22	日	秋分の日
23	火		23	木		23	日		23	火		23	金		23	月	振替休日
24	水		24	金		24	月		24	水		24	土		24	火	
25	木	懇談①	25	土		25	火		25	木		25	日		25	水	修学旅行
26	金	懇談②	26	日		26	水	クラブ活動	26	金		26	月	始業式	26	木	修学旅行
27	土		27	月	6年生校外学習	27	木		27	土		27	火	給食開始 4時間授業	27	金	
28	日		28	火	林間学習	28	金		28	日		28	水	4時間授業	28	土	
29	月	昭和の日	29	水	林間学習	29	土		29	月		29	木		29	日	
30	火	懇談③	30	木		30	日		30	火		30	金		30	月	
			31	金					31	水		31	土				

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	火		1	金	芸術鑑賞会	1	日		1	水	元日	1	土		1	土	
2	水	委員会	2	土		2	月	懇談①	2	木		2	日		2	日	
3	木		3	日	文化の日	3	火	懇談②	3	金		3	月		3	月	
4	金		4	月	振替休日	4	水	懇談③	4	土		4	火		4	火	
5	土		5	火		5	木	懇談④	5	日		5	水	委員会	5	水	委員会
6	日		6	水	委員会	6	金	懇談⑤	6	月		6	木		6	木	
7	月		7	木		7	土		7	火	始業式	7	金		7	金	
8	火		8	金		8	日		8	水	給食開始 4時間授業	8	土		8	土	
9	水		9	土		9	月		9	木	4時間授業	9	日		9	日	
10	木		10	日		10	火		10	金		10	月		10	月	
11	金		11	月		11	水	クラブ活動	11	土		11	火	建国記念の日	11	火	
12	土		12	火		12	木		12	日		12	水		12	水	
13	日		13	水	クラブ活動	13	金		13	月	成人の日	13	木		13	木	
14	月	スポーツの日	14	木		14	土		14	火		14	金		14	金	
15	火		15	金		15	日		15	水	委員会	15	土	土曜参観 学習発表会	15	土	
16	水		16	土		16	月		16	木		16	日		16	日	
17	木		17	日		17	火		17	金		17	月	代休	17	月	
18	金		18	月		18	水		18	土		18	火		18	火	卒業式
19	土		19	火		19	木		19	日		19	水	クラブ活動	19	水	
20	日		20	水	クラブ活動	20	金		20	月		20	木		20	木	春分の日
21	月		21	木		21	土		21	火		21	金		21	金	給食終了
22	火		22	金		22	日		22	水	クラブ活動	22	土		22	土	
23	水		23	土	勤労感謝の日	23	月	給食終了	23	木		23	日	天皇誕生日	23	日	
24	木		24	日		24	火	終業式	24	金		24	月	振替休日	24	月	修了式
25	金		25	月		25	水		25	土		25	火		25	火	
26	土	運動会	26	火		26	木		26	日		26	水		26	水	
27	日	運動会予備日	27	水		27	金		27	月		27	木		27	木	
28	月	代休	28	木		28	土		28	火		28	金		28	金	
29	火		29	金		29	日		29	水	クラブ活動				29	土	
30	水		30	土		30	月		30	木					30	日	
31	木					31	火		31	金					31	月	

15. 事務年間計画

基本方針	安全安心な教育環境づくりを達成するために、効果的な予算運用を行い教育支援に繋げる。								
区分	枚方市関係事務				大阪府関係事務			連携事務室での取組	主な学校行事事務研修・他
内容	学校予算事務	学校園徴収金事務	学事関係	就学援助	給与	旅費	共済・互助		
目標	教育目標達成に向けた各係・分掌の予算計画を行い学習環境の改善をは図る。	保護者負担軽減を目指すとともに各学年と連携し 有効的執行を行う。未納対策についても情報を共有する。	児童・生徒数や転出・転入における書類について適正で迅速な事務を行う。 就学援助の啓発と促進を行う。		給与関係書類（手当認定を含む）について、常に状況確認を行い、正確な給与事務を行う。	教育予算として、計画的な旅費予算の執行を行う。	福利厚生の情報提供を迅速に行い、人間ドックを始めとする事業の活用を促す。	チーム事務職員で職務に取組、事務の効率化を図り、事務体制の充実と教育の活性化をめざすとともに連携事務室での活動を教育支援へ繋げていく。	
具体的な取組	・学校予算の有効執行により教育条件をおこなう。各教科・分掌の教員と連携し授業に必要な備品・消耗品の年間計画の予算を立案し効果的執行を行う。 経費節約、不要備品等の廃棄をし現有数や活用状況の把握に努め、教育環境整備へと繋げる。	・保護者負担軽減と公費の有効活用の執行を行う。学校徴収金の調整、費用等の検討、公費、私費の負担区分を明確にして学校徴収金の透明性を図る。各行事やクラブ、備品購入の予算編成の支援をする。	・就学援助家庭は、校区連携で引き継ぎを行い、就学援助申請の促進を行う、また、兄弟関係がある場合は情報交換し配慮しながら事務を行う。 就学援助・生活保護家庭での納入金に未納が生じている場合は、学校長委任をお願いする。 転出事務は、在学証明書・教科書証明書を渡し、転入事務は受け取り、他市からの転入で教科書が異なる場合は給与する。		・三手当届の認定事務処理後、校区で相互確認を行う。 ・教員への給与情報等の提供を行う。	・毎月旅費請求を行い、常に執行状況の把握に努める。 ・出勤簿等関係書類との整合性を図る。	・共済・互助だより等の配付を行う。	・連携事務室だより ・地域への貢献(一中フェスタやPTA祭りへの地域へ補助的業務) ・監査該当校へ支援 ・物品、備品の情報共有	
4月	・枚方市予算説明会 ・教科・分掌の備品・消耗品購入希望調査 （夏用備品執行計画作成）	・予算書作成 ・銀行口座登録 ・年間徴収計画作成 ・保護者へ通知	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告 ・教科書関係事務	・就学援助申請書配付、受付	・新規、転勤者三手当認定事務 ・給与関係書類作成、入力 ・各種手当入力	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	・新規採用者認定事務 ・互助だより配付	・就学援助申請者の確認 ・新採・転任者三認定届の相互確認 ・連携事務だより発行	・入学式 ・始業式 ・予算説明会
5月	・予算執行計画作成提出 ・備品購入計画作成提出 ・予算計画表作成 ・備品執行計画作成 ・今年度予算会議	・第１回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	・就学援助申請 年度当初分受付締切～15日迄 ・就学援助申請 随時受付	・給与関連事務 ・特勤手当入力	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合		・年間計画作成 ・三認定事後確認配布資料作成 ・共同実施の在り方協議 ・連携事務だより発行	・校外学習 ・連携事務室長会議 ・宿泊学習(小学校)
6月	・夏用備品納入	・第２回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告		・期末勤勉手当事務 ・給与関連事務 ・児童手当現況確認事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・年間旅費執行計画作成 ・出勤簿一覧との照合	・互助だより配付	・情報交流 ・定型業務の情報交換 ・連携事務だより発行	・事務研修 ・修学旅行（中学校） ・体育祭 （中学校）
7月		・第３回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	・第１回就学援助金支給 ・就学奨励費申請	・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	・共済おおさか配付	・三認定の現況の事後相互確認 ・活性化予算執行状況確認	・終業式 ・事務研修
8月	・１期備品、パソコン関係納入 ・備品整備	・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告		・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	・互助だより配付	・拡大連携会議の反省	・始業式
9月	・２期備品納入	・第４回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者数報告 ・後期用教科書事務 ・教科書前期転学用報告		・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・年間旅費執行計画作成 ・出勤簿一覧との照合		・監査該当校支援 ・徴収金関係書類チェック	・事務研修 ・校外学習 ・文化祭（中学校）
１０月		・第５回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数 ・転入学除籍者報告		・給与関連事務 ・特勤手当入力	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	・共済おおさか配付 ・互助だより配付	・連携事務だより発行 ・研修報告	・運動会（小学校） ・陸上合同練習 ・連携事務室長会議 ・修学旅行（小学校）
１１月		・第６回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数 ・転入学除籍者報告		・年末調整事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・旅費執行状況調査作成 ・出勤簿一覧との照合		・年末調整事務の相互確認作業 ・連携事務だより発行	・駅伝競技大会 ・事務研修
１２月	・３期、一括備品納入 ・机椅子調査	・第７回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数 ・転入学除籍者報告	・第２回就学援助金支給	・再年末調整事務 ・期末勤勉手当事務 ・給与関連事務 ・源泉徴収票の配布	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	・互助だより配付	・連携事務だより発行 ・三認定の現況の事後相互確認	・終業式
１月		・第８回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数 ・転入学除籍者報告		・昇給発令事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	共済おおさか配付	・連携事務だより発行 ・履歴書整備、確認作業	・始業式
２月		・第９回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数 ・転入学除籍者報告 ・教科書後期転学用報告		・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合	・互助だより配付	・決算書の交流、年度末の準備確認	・事務研修 ・入学説明会 ・連携事務室長会議
３月	・備品整備 ・机、椅子納品	・第１０回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務 ・決算書作成報告 ・徴収金返金事務	・児童生徒数 ・転入学除籍者報告 ・教科書関係事務	・第３回就学援助金支給	・異動職員準備事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・出勤簿一覧との照合		・連携事務だより発行 ・新年度準備確認 ・共同実施報告書作成 ・次年度共同実施の在り方検討	・卒業式 ・修了式
備考		・徴収金振替 毎月５日・１５日（基本） ・給食費は毎月おいしい給食課へ振込	・転出、転入事務 ・校務支援システム確認	・就学援助申請 随時受付	・三手当、給与変更届は随時受付 ・ＳＳＣ関係入力随時	・旅行命令簿兼旅行明細書確認随時	・共済保険証取得事務 ・出産、育児給付等請求事務	・月１回連携会議開催 ・年１回拡大連携会議開催	・文書事務

Ⅲ．運営部
Ⅰ．人権・生活指導部
人権教育

(1)目標

一人ひとりを大切にし、共に認め合い、共に生きる。

(2)具体的方策

・各学年で　「仲間づくり」「平和」「共生」「福祉」「部落問題」等の人権教育を計画的に実践していく。

・一人ひとりの人間を大切に、不登校の児童へのよびかけや、配慮を要する児童とともに学び、いじめ等のない仲間づくりに学校全体で取り組む。

・セクシャルハラスメントの防止について、教職員の理解を深める。

・支援や配慮を要する児童へ教職員全員でかかわっていけるよう理解を深める。

・支援教育校内委員会を組織し、支援教育の体制を整え、活動する。

　＊支援教育校内委員会を必要に応じて開く。

　＊保護者との面談を必要に応じて行い、連携をはかりながら個に応じて支援していく。

　＊課題や方針を明確にし、校内研修会を開く。

　＊個別の指導計画の充実を図る。

・必要に応じて適切にケース会議を組織する。（支援教育Co）

(3)不登校児童への対応方針

【登校渋りがある児童】

早期に保護者と連絡を取り、登校しずらい要因を聞き取りつつ、校内・SC・心の相談員も含めて児童の共有を図る。

電話やタブレットを通じて本人との関係が切れてしまわないように、状況に応じて家庭訪問も行う。

【不登校児童】

連続での欠席が続いた場合は、原因を早期に見極め、対応ができるようケース会議も開きながら学校としての方針を取り決めていく。

児童・保護者との関係を維持していくためにも電話や家庭訪問なども適切な頻度で行っていく。

教室に入れない場合は、ほっとルームを利用した別室登校や放課後の来校など本人が気持ちが少しでも登校できるよう提案をする。

他の要因やそれでも登校ができず欠席が続く場合は、心の相談員やSCと繋ぎ相談を受けてもらう事や他の機関とつなげていくことも検討し、提案していく。

(4)年間計画

	研　修　内　容
4月	本年度の取り組み　年間計画検討、学年カリキュラム検討　児童理解の報告
5月	人権全体会　1年支援学級説明
6月	プール指導にむけて
7月	人権教育研修
8月	
9月	平和学習月間
10月	運動会にむけて
11月	園訪問
12月	人権全体会
1月	園訪問
2月	卒業・入学の取り組み
3月	人権全体会

人権教育全体計画

教育関連法規

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領

時代や社会の要請

児童が「生きる力」を身につけ、自己実現する能力と心豊かな人間の育成

めざす子ども像

- 自らを日々成長させようとする子ども
- 自ら学び、考え、行動できる子ども
- 心豊かで、思いやりのある子ども
- 健康でたくましい子ども

【地域の実態】

- 校区の大半が落ち着いた住宅地域である
- 地域の学校という認識のもと、児童の健全育成が活発に行われ、保護者の学校教育に対する関心は極めて強く期待も大きい

【児童の実態】

- 明るく　素直　快活である。
- 興味のあるものには意欲を示すが粘りに欠ける
- 自主性　主体性が不足し、指示待ちの傾向がある

【保護者の願い】

- 心豊かで思いやりのある子ども
- 自ら学び、個性を伸ばす子ども

【教師の願い】

- 自他を大切にし、思いやりの心に富んだ子ども
- 主体的に学ぼうとする意欲あふれる子ども

人権教育の重点目標

一人ひとりを大切にし　共に認め合い　共に生きる

学　年　重　点　目　標

【　低学年　】

- 自分のことは自分ですることができる
- みんなと仲良くできる
- 正しい言葉づかいやあいさつができる
- 優しい心で動植物をかわいがる

【　中学年　】

- 命を大切にする心や相手を思いやる心を持ち、個々を大切にしながら集団の一員として行動できる
- 自分の力を信じ、意欲的に挑戦するとともに、友達と協力し合う楽しさを知る

【　高学年　】

- 自分で考え、判断し、行動する
- 一人一人の違いを認め合い、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考えることができる
- 決まりを守り、社会や人に役立とうとする事ができる
- 故郷を愛し、広く世界に目を向ける事ができる

特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸ばすと共に、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする主体性・実践的態度を育てる

道徳教育の目標

- 人間尊重の精神を基礎とした豊かな心の育成
- 児童の内面に根ざした道徳性の育成

支援教育の目標

共に育ち、支援学級在籍児童が自立できるように適切な支援教育を進める

生徒指導の目標

明るく楽しい学校生活を送らせる

人権教育の方策

- 支援教育の体制を整える
- 基礎基本の充実に努め、自尊感情を育てる
- 一人一人を大切にし、違いやよさを認め合う関係の中で、いじめ等のない仲間づくりについて考えさせる
- 各教科等の密接な関連を図りながら、人権教育副読本等を活用し、計画的な指導に努める
- 支援教育との連携を図る
- 個別の指導計画の充実を図る
- 多文化教育、外国語活動等を通して、国際理解に努める

学校・学年・学級環境

- 学習環境や視聴覚環境を整え、豊かな情操を養う
- 言葉の環境を整え、互いを尊重し合う態度を育てる
- 学校の歴史や先輩たちの業績を知り、学校を愛する心を培う
- 動植物を育て、生命のすばらしさに感動する心を育てる

各教科における人権教育

各教科の学習活動をする中で、児童の人権意識を高め、実践的態度を育てる

総合的な学習における人権教育

様々な人権にかかわる参加・体験活動を通して、人間を愛し、人権を尊重する態度や考えを育てる

地域と家庭との連携

- 学校、学年だより等を通して保護者との連携を深め、より良く生きようとする子どもを支援する
- 地域の人々との交流を深め、郷土の良さや様々な人々の存在に気付かせる
- 地域の行事に参加し、文化の理解と発展に努め、地域の人々と共に生きようとする意欲を育てる
- 幼保こ小で連携と交流を行い、円滑な就学を支援する

○人権教育年間指導計画

学年	共生 （多文化・男女等）	平和	福祉	部落問題	仲間づくり
1	『じゃんけんぽん』 （人権教材集より）	『ライオンが いなくなったどうぶつえん』 （人権教材集より）	『ゆっくりゆっくり』 （人権教材集より）	『子どもはみんなたいせつ』 （人権教材集より）	『みんなでぽかぽか』 『あそぼうよ』 （人権教材集より）
2	『すきないろでいっぱいに』 （人権教材集より）	『ピカドン』 （人権教材集・絵本より）	『わたしたちの町やさしい町』 （人権教材集より）	『いただきます』 （人権教材集より）	『こんなことないかな』 （人権教材集より）
3	『わたし・ともだち・おかあさん・おとうさん』 （人権教材集より）	『ちいちゃんのかげおくり』（絵本） 枚方平和の日について	『見えないってどんなこと』 『手や指で話そう』 （人権教材集よｒ） 点字・アイマスク体験（総合）	『お母さんの仕事』 （人権教材集より）	『いまどんなきもち』 （人権教材集より）
4	『コリアタウンへようこそ』 （人権教材集より）	『一つの花』 （絵本） 枚方市での戦争での被害や生活について（社会）	車いす体験(総合)	『わたしたちの権利』 （人権教材集より）	『心の答え合わせ』 『こんなときどうする』 （人権教材集）
5	『アイヌの人たちのことを学知ろう』 『好きなことはいろいろ』 （人権教材集より）	○枚方平和の日・第五福竜丸 『わすれないで －第五福竜丸物語－』 （絵本）（DVD）	『わたしのおじいちゃんぼくのおばあちゃん』 （人権教材集より） ユニバーサルデザインについて （総合）	『はたらくってステキ』 『ほんまにやさしいまごでっせ』 （人権教材集）	『いじめについて』 （人権教材集より） ライフスキルワークショップ
6	『ちがうことこそすばらしい』 （人権教材集より）	修学旅行に向けて ・平和学習 ・日本国憲法暗記・群読	『トモくんのけしゴム』 （人権教材集より）	『解体新書』から学ぶ（社会） 『渋染一揆』 （人権教材集より） （社会）	『夢を大切に』 （人権教材集より）

生徒指導計画

（１） 目標　　明るく楽しい学校生活がおくれるようにする

（２） 具体的方策

- 挨拶を通じ、豊かな人間関係を築く
- 学校生活において、「いじめ」や「不登校」を未然に防ぐよう努める
- ものの正しい使い方を知り、物を大切にする心を育てる（落とし物を減らす）
- ルールを守って、学校生活を気持ちよく過ごせるようにする

◎児童集会で必要に応じて話をしていく（雨の日のすごし方、けが防止等）

◎学期毎の終業式で、長期休養中の生活についての話をする

◎「夏休みのくらし」「冬休みのくらし」「春休みのくらし」を作成する

◎学校のきまりを作成する

◎各委員会と連携し、児童主体の取り組みを行う。

学校のきまり

■元気(げんき)よくあいさつをしましょう。

■持ち物(もちもの)に名前(なまえ)を書(か)きましょう

■学校(がっこう)ではえんぴつを使(つかい)ましょう。１～3年(ねん)は赤(あか)鉛筆(えんぴつ)を使(つか)い、色(いろ)ペン・色(いろ)ボールペンは使(つか)いません。4～6年(ねん)はペン（赤(あか)・青(あお)）・ボールペン（赤(あか)・青(あお)）を使(つか)ってもよいです。修正(しゅうせい)ペン、修正(しゅうせい)テープ等(とう)は使(つか)いません。

■リップクリーム、目薬(めぐすり)等(とう)は持(も)ってきてもよいですが、貸(か)し借(か)りはしません。色(いろ)つきのものや匂(にお)いつきのものは使(つか)いません。

■学校(がっこう)に必要(ひつよう)のないものは持(も)って来(き)ません。ランドセル・筆箱(ふでばこ)にキーホルダーはつけません。おまもりは、ランドセルのチャックのあるポケットに入(い)れておきます

※つけていいもの　防犯(ぼうはん)ブザー・防犯(ぼうはん)ホイッスル・反射板(はんしゃばん)

■下(した)ぐつは、はきやすく、運動(うんどう)のしやすいくつを選(えら)びましょう。

■上(うえ)ぐつ・体育館(たいいくかん)シューズは、色(いろ)の中心(ちゅうしん)が白(しろ)で、派手(はで)ではないものを選(えら)びましょう。くつの前(まえ)に「上(うえ)」か「体(たい)」を書(か)き、名前(なまえ)も必(かなら)ず書(か)きましょう。

■ピアス、マニキュア、毛(け)染(ぞ)めなどはしません。

■夏場(なつば)は、登校(とうこう)時(じ)のみ冷却用(れいきゃくよう)のタオルを使(つか)うことができます。

■冬場(ふゆば)は、登校(とうこう)したら、防寒(ぼうかん)具(ぐ)を脱(ぬ)ぎましょう。
(上着(うわぎ)・手(て)ぶくろ・ネックウォーマー・マフラー・耳(みみ)当(あ)てなど)

■冬場(ふゆば)のカイロは持(も)ってきてもよいですが、ポケットの中(なか)に入(い)れて、 学習(がくしゅう)の妨(さまた)げにならないように使(つか)いましょう。

■登校後(とうこうご)は校外(こうがい)に出(で)ません。

■休(やす)み時(じ)間(かん)の間(あいだ)に、次(つぎ)の授業(じゅぎょう)の準備(じゅんび)をしておきましょう。
■チャイム着席(ちゃくせき)を守(まも)りましょう。
(予鈴(よれい)の音楽(おんがく)が鳴(な)り始(はじ)めたら遊(あそ)びをやめ、教室(きょうしつ)にもどります。)
■廊下(ろうか)や階段(かいだん)では遊(あそ)ばず、右側(みぎがわ)を静(しず)かに歩(ある)き、走(はし)りません。
■移動(いどう)教室(きょうしつ)は、クラスで並(なら)んで行(い)きましょう。
■必要(ひつよう)のない他(ほか)の学年(がくねん)の教室(きょうしつ)や廊下(ろうか)には行(い)きません。
■職員室(しょくいんしつ)に用事(ようじ)があるときは、クラスと名前(なまえ)、用件(ようけん)を先生(せんせい)に伝(つた)えましょう。
■児童(じどう)は職員(しょくいん)トイレを使(つか)いません。
■非常(ひじょう)口(ぐち)は、非常(ひじょう)の時(とき)以外(いがい)には出入(でい)りしません。
■校舎(こうしゃ)の外(そと)には上(うえ)ぐつで出(で)てはいけません。
■雨(あめ)の日(ひ)や雨(あめ)が降(ふ)った後(あと)は、運動場(うんどうじょう)は使(つか)えません。朝礼(ちょうれい)台(だい)に赤(あか)い旗(はた)が立(た)つので、確(たし)かめましょう。
■各学級(かくがっきゅう)にトランプ、ウノを教室(きょうしつ)に置(お)いておきます。雨(あめ)の日(ひ)は使(つか)ってもかまいません。自分(じぶん)たちでは持(も)ってきません。
■給食(きゅうしょく)を待(ま)っている間(あいだ)は座(すわ)って待(ま)ちましょう。1時(じ)までは教室(きょうしつ)を出(で)ないようにしましょう。
■放課後(ほうかご)、用事(ようじ)がない時(とき)に、児童(じどう)だけで教室(きょうしつ)に残(のこ)りません。
■学級(がっきゅう)等(など)で先生(せんせい)と残(のこ)るときは4:30までには下校(げこう)します。
■放課後(ほうかご)に学校(がっこう)で遊(あそ)ぶには「放課後(ほうかご)オープンスクエア」の登録(とうろく)が必要(ひつよう)です。
■学校(がっこう)へは自転車(じてんしゃ)では来(き)てはいけません。
■学校(がっこう)に忘(わす)れ物(もの)を取(と)りに来(き)ません。どうしても必要(ひつよう)なときは、お家(うち)の人(ひと)と一緒(いっしょ)に職員室(しょくいんしつ)の先生(せんせい)か施設(しせつ)管理人(かんりにん)さんに声(こえ)をかけ、かぎをかりましょう。
■出(で)かけるときは、防犯(ぼうはん)ホイッスル・ブザーを持(も)ちましょう。
■遊(あそ)びに行(い)くときは、①行(い)き先(さき) ②だれと遊(あそ)ぶか ③何時(なんじ)に帰(かえ)るかを、お家(うち)の人(ひと)に伝(つた)えましょう。また、暗(くら)くならないうちに帰(かえ)りましょう。
■お家(うち)の人(ひと)の許(ゆる)しがないのに、子(こ)どもだけで校区外(こうくがい)へ行(い)って遊(あそ)んではいけません。